

第43回 浜薬研究交流セミナー

下記によりセミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日時： 2021年1月30日（土）15:00～16:30

場所： 横浜薬科大学 研究棟 2階 F21 多目的講義室

演者： 田中 耕一郎 先生

（東邦大学 医学部 東洋医学研究室 准教授）

演題： 日本における漢方の“流派”とその臨床応用

要旨： 現在日本では80%以上の医師が漢方薬を処方経験があり、今も継続しているとされています。文部科学省は、2001年より大学医学部での漢方教育の必修化を義務付け、さらに2015年には、漢方医学教育担当者が日本漢方医学協議会を結成し、標準化の動きが出てきています。その内容は、日本独自のものもあり、“日本漢方”とも呼ばれています。東洋医学が日本化していく中での特徴は何でしょうか？ 中国、朝鮮半島から伝わってきた伝統医学の歴史とその中で生まれた“流派”、特に後世派と古方派の特徴を見ていきたいと思えます。“また、今後の展開について薬学部の皆さまから、臨床、教育、研究の面での御意見を交換出来ればと考えています。

連絡先： 漢方薬物学研究室 諭 静（内線 7007）

* 本セミナーは大学院講義との共催となります。